

コロナ禍におけるQMS-H活動の推進

QMS-H (Quality centered Management System for Healthcare: 医療における質中心経営管理システム)

2021年2月27日(土) 12:45~16:45 Zoom (オンライン)開催

QMS-H研究会代表:飯塚悦功(東京大学), 副代表:棟近雅彦(早稲田大学)・水流聡子(東京大学)

医療の質・安全への関心の高まりのなかで, 有力な方法の一つと期待されているのが, 「QMSアプローチ」です。いかなる分野でも, 良質の製品・サービスの提供のためには, 当該分野に固有の技術・知識(固有技術)と, それらの技術・知識を組織的に活用するための方法論(マネジメント技術)が必要です。「QMSアプローチ」とは, この考え方に基づき, 医療の質・安全に必要な知識・技術・技能の開発・可視化・構造化・標準化とともに, これらの技術を組織的に活用していくための基礎となる, マネジメントの基本概念の理解, マネジメントシステムの確立・改善, 人材育成, 組織文化・価値観の確立などに焦点を当てる, 組織的な改善・改革の方法論です。

QMS-H研究会は, 大学の工学系研究者と病院との共同研究により, 「QMSアプローチ」による医療の質・安全の向上をめざしてきました。QMSは, 代表的なマネジメント技術であり, 質のよい製品・サービスを組織的に提供し, さらに改善を行うための仕組み, 仕事のやり方です。これには, 仕事のやり方を決めた業務手順書や, 実際に仕事をする人, 仕事で使う設備やものなど, いろいろな経営資源が関わってきます。QMS-H研究会では, 医療にふさわしいQMSの形態はどのようなものであるのか, それを病院に導入・推進するにはどのようなやり方をすればいいのか, 10年以上にわたり先駆的な研究を続けてきました。

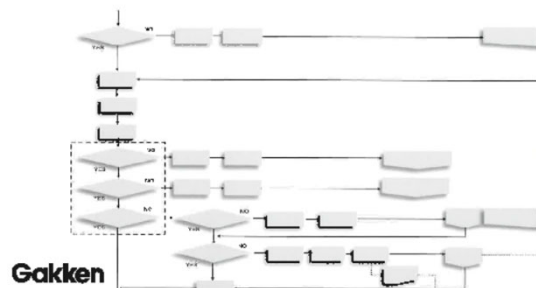
本年度は新型コロナウイルスの感染が広まり, 医療従事者の皆さまは第一線で治療や看護に奮闘されております。本シンポジウムでは, 総合犬山中央病院院長 齊藤雅也先生に, これまでの医療の質向上に関する取り組みや, 新型コロナウイルス後の変化について基調講演を行っていただきます。また, 我々研究会メンバーも, このような中でオンラインで研究会を開催し, 情報交換や文書管理, 教育に関する研究活動を続けてまいりました。さらに, オンラインでのQMS-Hの普及・促進という新たな活動にもチャレンジいたしました。本シンポジウムは, それらの成果をご報告いたします。

医療の質・安全の向上に取り組んでいらっしゃる多くの方々の参加を歓迎いたします。

Organizational Quality Assurance of
Healthcare Quality - QMS Approach

組織で保証する 医療の質 QMSアプローチ

編者: 飯塚 悦功・棟近 雅彦・水流 聡子
編集: QMS-H研究会出版委員会



(申込方法:裏面をご覧ください。)

■ 2021年2月27日(土) 12:45-16:45

- I. はじめに (早稲田大学 棟近 雅彦)
- II. 共同研究グループの成果発表 ~文書管理グループ~ (明石市立市民病院 田中 宏明)
- III. 基調講演「医療の質改善活動の実践~TQMを利用しての病院マネジメント~」
総合犬山中央病院 院長 齊藤 雅也 氏
- IV. オンライン版「医療のための質マネジメント基礎講座」の開発と病院での実践事例
(静岡大学 梶原 千里, 千葉工業大学 佐野 雅隆, 導入病院代表者)
- V. QMSの活動を継続するには ~情報交換会の成果報告とQMS活動の職能表の作成~
(明石市立市民病院 田中 宏明)
- VI. 学生による病院との共同研究テーマの発表 (早稲田大学, 静岡大学 学生)
- VII. 今年度のまとめと来年度以降の計画 (早稲田大学 棟近 雅彦)

■ 基調講演「医療の質改善活動の実践～TQMを利用したの病院マネジメント～」 要旨

総合犬山中央病院 院長 齊藤 雅也 氏

筆者は1978年に医師免許を取得、臨床医としての研鑽をそれなりに積んでいたのですが、当時の医局人事により、1991年9月に西尾病院(岐阜県関市、内科単独113床)に赴任した。マネジメントを全く知らずに38歳で民間病院の院長となってしまう、管理者としての苦戦が始まった。筆者よりやや若い事務長と、外部から招聘した看護部長との3人が核となり、マネジメントに関する研修・教育を積極的に受け、多くの方の実践例を参考にして病院運営を展開していった。

1996年7月に病院の新築移転が完成し、名称を関中央病院(内科・外科・整形外科、150床)に変更したが、そこから病院マネジメントをさらに学び、実践していった。2003年に医療版TQMを、2004年にBSCを知り、マネジメントツールとして利用し始めた。“医療の質”管理を考え実践していったこれまでの例をいくつか提示させていただく。さらに、医局の大先輩からご縁をいただき、2018年3月に現在の病院に院長として赴任、新たにTQMに取り組んでいる現状を報告する予定である。

■QMS-H研究会 参加病院・大学一覧（順不同）

<参加病院>

明石市立市民病院

飯塚病院

大久野病院

心臓血管センター

金沢循環器病院

川口市立医療センター

古賀総合病院

国立病院機構 埼玉病院

国立病院機構 仙台医療センター

前橋赤十字病院

武蔵野赤十字病院

<参加大学>

東京大学

早稲田大学

東海大学

千葉工業大学

静岡大学

■参加費・参加申し込み:

参加費は**無料**です。

- ①ご氏名
- ②ご所属
- ③職種
- ④E-mailアドレス

上記4点を記入の上、**2月19日(金)**までに、シンポジウム事務局
E-mail: qms-h-secretary@tqm.mgmt.waseda.ac.jp
まで E-mailでお申し込みください。

後日、お申し込みいただいた方に、当日のオンライン会議室への入室方法をご案内いたします。

シンポジウム事務局 E-mail: qms-h-secretary@tqm.mgmt.waseda.ac.jp
TEL: 03-5286-3304(水), (金)のみ

QMS-H研究の詳細は、<http://qms-h.org/index.html> をご参照ください。